

令和5年度 後期学校アンケート集計結果

後期学校アンケートへのご協力、ありがとうございました。東小学校グランドデザインと照らし合わせながら、児童・保護者の皆様からいただいた結果をまとめましたので、お知らせいたします。

東小学校グランドデザインより

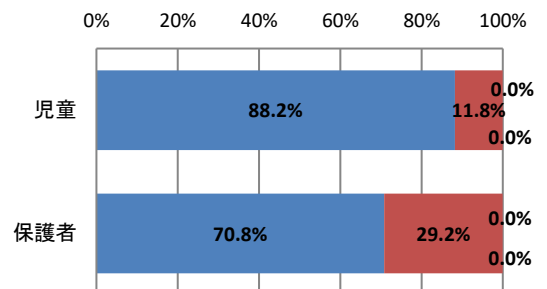
☆学校の目標 ()内はR5年度前期アンケートの「そう思う」+「どちらかというとそう思う」の割合
 学校が楽しい 100%(98%) 授業が分かる 92%(98%) 挨拶 94%(98%) 言葉遣い 92%(94%)
 人が困っているときは進んで助ける 94%(96%) 目標をもって努力する 98%(96%)
 読書が好き 88%(90%) 進んで思いや考えを話したり書いたりして表現する 94%(92%)
 家で勉強や宿題をよくやっている 92%(96%) ICTを効果的に活用した授業 96%(88%)

※グラフの水色は「そう思う」、赤色は「どちらかというとそう思う」、黄緑色は「どちらかというとそう思わない」、紫色は「そう思わない」を表しています。

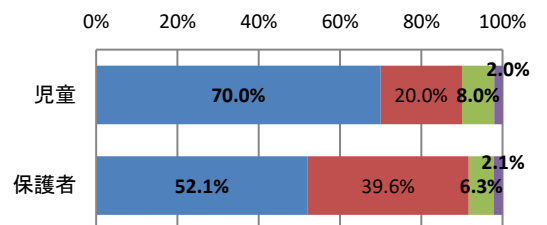
【結果と考察】

- ①「学校は楽しいですか。」の質問に対して、100%の児童が「そう思う」「どちらかというとそう思う」と回答し、前期より2%上がりました。代表委員会で子供たちが話し合って決まった全校遊びが実現できたり、3年ぶりに浮島スポーツフェスティバルが地域と合同開催できたりと、子供たちにとって友達や多くの方々と関わる楽しい活動が多く行えたことが大きな要因だったと思っています。今後も引き続き「学校が楽しい」「学校が好き」と思える一人ひとりに居場所のある学校を目指していきます。
- ②「学校の出来事を、よく家で話しますか。」の質問では、90%の児童が肯定的回答をし、前期の78%から飛躍した結果となりました。保護者の方が、学校での話を共感的に聴き、子供たちとのコミュニケーションを大切にくださった結果だと考えています。ありがとうございます。このような傾聴（「耳」「目」「心」を傾けて相手の話を聴くこと。）姿勢で『顔を見て話す、最後まで聞く』を心掛けることで、子供の考え方や状況など把握でき、絆も深まります。学校とご家庭で連携しながら、大切なお子様の成長を喜び合いたいと思います。
- ③④「地域の方がいろいろな場面で手伝ってくれるのは、うれしいですか。」「須津小との交流は、これからもやってみたいですか。」という2つの質問には、高い割合の児童が肯定的回答でした。多くの人と関わる中で、地域とともにある学校づくりが進んでいます。5年生の稲作りや2年生の校外学習、昔遊びやわら体験など今年度も東小ならではの活動に地域の方が参画してくださり、子供たちの笑顔が溢れる貴重な体験ができました。また、須津小との交流については100%の児童が来年度もやっていきたいと答えていることから、子供たちが小中交流や、みどりの学校等の校外学習を通して、新しい友達ができたり共に学ぶ楽しさを感じたりしていることがうかがえます。来年度から小中一貫が始まりますが、小規模校の東小の子供たちが、地域の方や須津小・須津中の児童生徒と関わり合う中で、『たくましく挑戦する子』となるよう育てていきます。

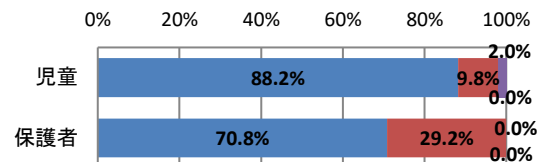
①【学校は楽しいですか。】



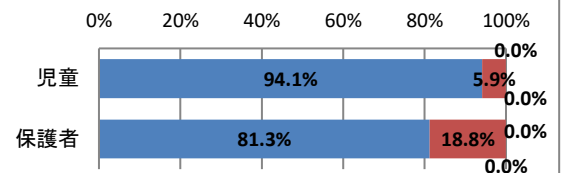
②【学校の出来事を、よく家で話しますか。】



③【地域の方がいろいろな場面で手伝ってくれるのは、うれしいですか。】



④【須津小との交流はこれからもやってみたいですか。】



⑤「自分には、よいところがあると思いますか。」の質問では、「そう思う」と答えた児童は前期の70%から12%低い58%でした。学習が進み、視野が広がったり課題について自分を見つめられるようになったりしたことが、一因と考えられます。学校では、子供たちが自分自身を肯定的に捉えられるよう支援しています。話をしっかり聞き、失敗してしまったときにも過程をほめるなど、その子なりの頑張りを認めていけるよう意識していますが、まだまだ十分でないことの結果だと考えられます。また、学習形態についても、ペアやグループなど多様な形にし、互いによさを認め合えるような場作りを設定していきたいと思います。日々の子供たちの様子を学年・学校便り、CSだより等を通して発信していきます。学校・家庭・地域で肯定的な言葉掛けをし、子供たちが自分にもよさがたくさんあることに気付けるよう、みんなで育てていきたいと思います。

⑥「読書がすきですか。」という設問では、肯定的回答をした児童は、88%でしたが、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答した児童が12%でした。後期、なわとびやドッジボール等、外に遊びに出る子供たちが多くなりましたが、図書館に行く機会が減ってしまったことが原因と考えています。1月は読書月間でもあるので、子供たちが楽しく学校図書館へ足が向くよう、楽しい企画を計画しています。文字が多い本、厚い本でなくてもよいので、自分の好きな本が見つかり、本が好きになるきっかけ作りをこれからも進めていきます。

⑦「授業で学ぶことや友達と学ぶことが楽しいですか。」の質問では、肯定的回答をした児童は、100%でした。しかし、⑧「授業は分かりますか。」の質問では7.8%の児童が「どちらかというところ」そう思わないと回答しました。子供たちが学ぶ楽しさを実感している、定着したかどうかには不安が残るという実態が出ています。学校では、一人ひとりに目を向けて、理解しているかどうか個別の見届けに力を入れていきます。子供たちの分かった、できたという体験は次の学習への意欲につながる大切なことです。家庭と学校とで連携していくことで、子供の学力は定着するという調査結果もあるので、チャレンジノートやドリル（AIドリル）などの基礎基本の定着を連携しながら進めていきます。

《保護者の皆様より》「ホームページが市で管理になってから自由度がなくてスピーディーでないのが残念。子どもの様子はお便りでわかるが、写真が白黒なので、カラーはホームページで見たりしています。日常の写真をもっとみたいのと、スナップスナップで購入する機会が欲しい。」「地域との交流がもっとあって良い。来年度、子供会の理事をやるので、そういう行事を新しく開催してもいいかなと思っている。」「東小の良さを、地域の方以外にも知ってもらえる機会があればいいのと思います。開かれた学校のようなイメージで、見てもらえる機会があったらいいと思いますが安全性の問題から難しいのでしょうか。」「小さな地域なので多様な大人になかなか出会えず、子どもたちにもっと多様な社会、多様な職業などがあることを知ってほしい。例えば、私だったら、アナウンサー体験講座、会話術講座、子ども防災カードゲーム講座、防災トイレ、スリッパ作り講座、ジェンダー平等講座など出来ます。」「同級生との交流が増えて、もっと大人数の中で揉まれながら、コミュニケーションを学んでほしい。いろいろな年代の人たちと交流を持ってほしいので、福祉施設に訪問ができればいいと思う。ただ、学校行事だと先生方の負担が大きいので、地域で年配の方々の集まりに参加できるなど教えてもらえるだけでもいいと思う。」等の建設的なご意見をいただきました。

保護者の皆様よりいただきましたアンケート結果を参考に、良い点は継続し、見直すべき点は改善するよう修正し、今後もより良い学校運営を行っていきたく思います。東小は、地域とともにある学校です。「自分が好き・学校が好き・浮島が好き」な子供の育成のため、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

